

品番		HI 98198
品名		蛍光式 ポータブル溶存酸素計
溶存酸素	測定範囲	0.00～50.00mg/L(ppm)、酸素飽和度：0.0～500.0%
	検出単位	0.01mg/L(ppm)、酸素飽和度：0.1%
	精度@25℃	溶存酸素：測定値の±1.5% ±0.01mg/L（20mg/L未満）、測定値の±5%（20mg/L以上） 酸素飽和度：測定値の±1.5% ±0.1%（200%未満）、測定値の±5%（200%以上）
	校正	自動で1点または2点（100%(8.26mg/L)、0%(0mg/L)）、もしくは手動で1点
温度	測定範囲	-5.0～50.0 ℃（検出単位：0.1℃）
	精度@25℃	±0.3 ℃
	校正	1点校正（測定範囲内にて）
補正		気圧、塩分（0～70PSU）、温度（-5.0～50.0℃）
DO電極		HI 764113（温度センサー内蔵 4mケーブル）※10m、20mケーブルは別売り
ロギング		手動で4000データまで
PC接続		USB-C（タイプC）※PC接続するためのケーブルは標準付属
使用環境、防水		0～50℃、100% RH 本体：IP67、電極：IP68
電源		1.5V単三アルカリ電池4個、継続使用約200時間（バックライト未使用時）
自動電源オフ		未使用後5、10、30、60分および機能OFFより選択
サイズ、重さ		185×93×35.2mm 本体：450g、電極：400g（AISI316ステンレス製保護シールド付）
価格		オープン価格（ご購入される販売店にお問い合わせください）



セット内容

本体、DO電極 (HI 764113)、スマートキャップ、ステンレス製電極保護シールド、電極保護キャップ、ゼロ校正水 (230mL、30mL各1本)、100mLプラスチックビーカー×2、1.5V単三アルカリ電池×4、PC接続用USBケーブル (タイプC)、グリセリン、シリンジ、日本語取扱説明書、品質保証書 (英文)、樹脂製キャリングケース



QRコードを読み取ると・・・
HI 98198のwebページで
詳細をご覧ください！

別売りアクセサリ

HI 7040L	ゼロ校正水 (500ml入り)	3,400円
HI 710034	衝撃防止用ラバーブーツ (オレンジ)	7,800円
HI 764113	交換用DO電極 (4mケーブル)	150,000円
HI 764113/10	交換用DO電極 (10mケーブル)	162,000円
HI 764113/20	交換用DO電極 (20mケーブル)	182,000円
HI 764113-1	スマートキャップ (Oリング付き)	20,000円
HI 764113-2	電極保護キャップ (ブラック)	7,000円
HI 764113-3	ステンレス製電極保護シールド (シルバー)	19,000円
HI 920016	PC接続用USBケーブル (タイプC)	7,500円



ゼロ校正水は2種類(液体と粉末)
を混ぜ合わせて使用します。



衝撃防止用ラバーブーツは
本体を誤って落とした時の
衝撃を吸収し、また持ちや
すさもアップします。



ハンナ インストルメンツ・ジャパン株式会社

〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬1-6

エム・ベイポイント幕張14F

TEL : 043-216-2601 FAX : 043-216-2602

E-mail : sales@hanna.co.jp

「ハンナジャパン」で検索

2019.4

本カタログの表示価格はすべて税抜です。

こんなお悩みありませんか？

溶存酸素をご使用のみなさま、こういったこと感じた経験ありませんか？

- ✓メンブラン（隔膜）と電解液をセットするのが手間。そして定期的な交換が面倒。せっかくセットしたのに気泡とかの影響でやり直すのがストレス。そして消耗品のコストがかかる。
- ✓メンブランはセットできたけどウォームアップの時間がありなかなか測定に辿り着けない。
- ✓さて測定。一定の流速が必要なので、特に流速がない場合には測定値が安定しづらい。
- ✓20mg/L (ppm) ぐらいまで測定できる製品が多いけど、もっと広い範囲までカバーしてるものはないのかな？
- ✓基本的に野外に持って行って測定するから、なるべくスリムなケースに全部入ると便利。

これらを1台ですべて解決できる製品があります！

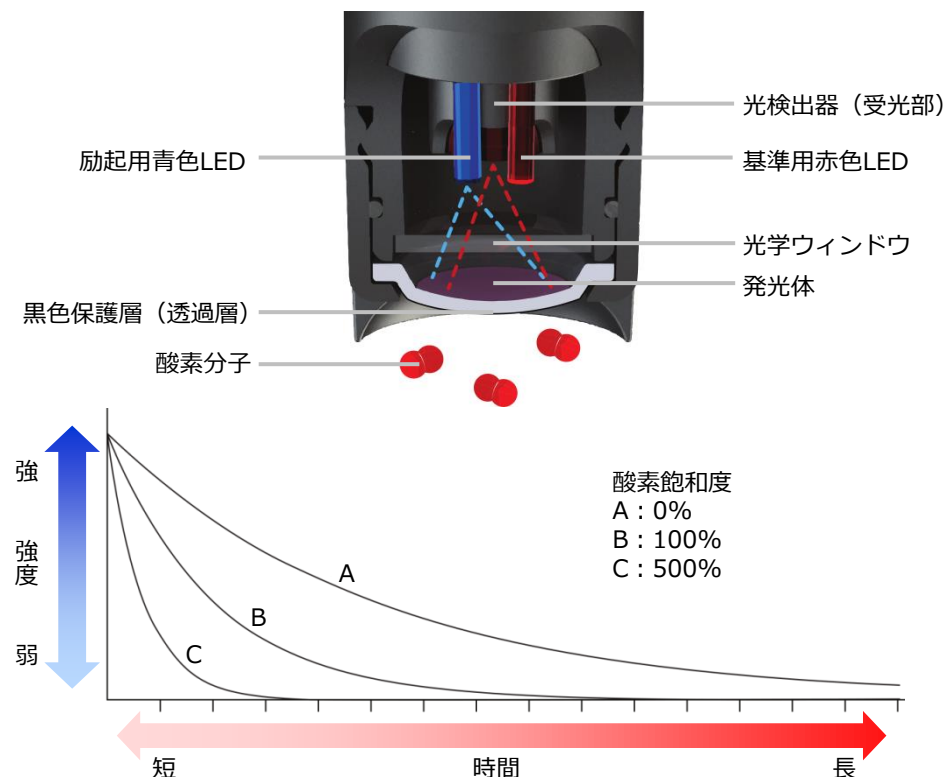
それがハンナの蛍光式 溶存酸素計です！

- ✓NO！メンブラン & 電解液
- ✓NO！ウォームアップ
- ✓NO！流速の影響
- ✓50mg/LまでOK！
- ✓スリムなケースに必要なものがすべて揃ってぴったり収納。

蛍光式とは？

蛍光消光現象を利用し溶存酸素の濃度を算出しています。

- ・青色励起(れいき)光を蛍光体に当てると蛍光体は赤色の蛍光を発します。（蛍光）
- ・酸素分子は励起エネルギーを吸収し（消光）、消光されなかった残光が光検出器で受光され発光の強度や時間により溶存酸素の濃度を算出します。
- ・酸素の濃度が高いと消光現象が強くなり、発光の強度や時間が短くなります。
- ・時間経過によりセンサーの光学部品は消耗・劣化していきますが、基準用赤色LEDの光信号により補正を行います。結果、信頼性の高い測定が行えます。



HI 98198の主な特長

①電源を入れてから測定までがラク！

- ✓蛍光式ではウォームアップが不要なので電源を入れればすぐに測定ができます。
- ✓測定時に酸素を消費しないので流速がなくてもOK。結果、多くの環境で素早く安定した測定が可能に。
- ✓電極はクイックDINコネクタを採用し本体への接続は簡単。しかも接続部もしっかり防水仕様です。
- ✓本体に電極を接続すれば校正情報などを自動認識。
- ✓オートエンド機能により信頼性アップ。（測定値が安定した時に自動で読み取り値を固定）



クイックDINコネクタは押し込むだけの簡単接続。接続すれば自動で電極の情報を認識します。

RFIDタグ



スマートキャップの内側にはRFIDタグ。使用日から交換時期までを毎回確認できます。キャップの表面はドーム状で気泡をはじくのに役立ち、また表面積を増やすことでより優れた測定感度を実現。

②メンテナンスがラク！なのにランニングコストが軽減！？

- ✓メンブラン（隔膜）や電解液は使わないので定期的な交換は不要。「測定頻度が高い」「消耗が激しい」という方はランニングコストも節約できます。
- ✓蛍光式では電極先端部に専用のスマートキャップを装着し使用。（上図） 定期的な交換は不要です。
- ✓基本的に測定後は洗浄しそのまま保管するだけです。

③野外使用に適したタフさや便利さ！

- ✓頑丈なボディに防水機能。（本体はIP67、電極はIP68） 水に濡れてもへっちゃらです。
- ✓電極ケーブルは4mあり、ドボンと投げ込んで使えます。（10m、20mケーブルは別売り）
- ✓どこでも見やすいバックライト付き。
- ✓新しい電池で約200時間の継続使用が可能。（バックライト未使用時）
- ✓スリムなケースにはゼロ校正水など付属品がぴったり収納。持ち運びにも便利です。



その他もいろいろ！

- ✓塩分、気圧、温度補正により信頼性の高い測定が可能。
- ✓過去の校正情報を確認できるGLP機能。直近5回まで見ることができます。
- ✓4000データまでの保存機能。手動でのデータ保存とUSBメモリやPCへの転送も可能です。
- ✓BOD（生物化学的酸素要求量）を求めることも可能。

※DO測定時にBOD算出のための情報を登録します。培養のための希釈水または植種希釈水、BODボトル、保管器等は付属しませんのでご用意下さい。一定条件のもと一定期間(5日)後に計算によりBOD値を算出します。サンプル保管等はJIS K 0102に従ってください。

蛍光式はこういった用途にオススメです！

養殖池での水質管理、マイクロバブル水やナノバブル水の溶存酸素測定、排水、汚泥水、めっき液、不純物の多い水の溶存酸素測定、油分を含む水の溶存酸素測定、酒類やみりん など
※隔膜式だと消耗品の交換頻度が高い試料、安定した測定が行えない試料、また攪拌をせずに測定したい試料にも対応。